

13: 成人 T 細胞白血病リンパ腫(ATL)

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 加藤 光次	九州大学病院	血液・腫瘍・心血管内科
赤塚 美樹	藤田保健衛生大学病院	血液内科
石田 高司	名古屋市立大学病院	血液・腫瘍内科
宇都宮 與	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
鈴宮 淳司	島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科
高塚 祥芝	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
田野崎 隆二	慶応義塾大学医学部	輸血・細胞療法センター
東梅 友美	ミンガン大学	
中瀬 浩一	愛媛県立中央病院	血液内科
名和 由一郎	愛媛県立中央病院	血液内科
菱澤 方勝	京都大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科
福島 卓也	琉球大学医学部保健学科	病態検査学講座血液免疫検査学分野
増田 昌人	琉球大学医学部附属病院	がんセンター
和氣 敦	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院分院	血液内科
崔 日承	独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター	血液内科
朝倉 義崇	日本赤十字社 沖縄赤十字病院	血液内科
中野 伸亮	公益財団法人慈愛会 今村病院分院	血液内科
藤原 弘	愛媛大学医学部附属病院	第一内科
町田 真一郎	東海大学医学部付属病院	血液腫瘍内科
澤山 靖	長崎大学病院	血液内科(原研内科)
多田 耕平	国立がん研究センター 中央病院	血液腫瘍科・造血幹細胞移植科
井上 明威	熊本大学医学部附属病院	血液内科
今田 和典	大阪赤十字病院	血液内科
吉田 功	独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター	血液腫瘍内科
吉満 誠	鹿児島大学病院	血液・膠原病内科
藤 重夫	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科
福田 隆浩	国立がん研究センター 中央病院	造血幹細胞移植科

2. 承認研究の進捗状況(2016年1月-12月 ※JSHCT2017を含む)

13-1	「ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討」 PI: 石田高司
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
13-2	「成人 T 細胞性白血病/リンパ腫に対する臍帯血移植の後方視的検討」 PI: 加藤光次
	学会発表: 済(WG 研究業績一覧参照) 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)
13-3	「ATL 患者に対する同種骨髄破壊的移植と非破壊的移植の比較検討、GVHD の意義について」 PI: 石田高司
	学会発表: 論文業績: 済(WG 研究業績一覧参照)

(第 16 回)	<p>に関する検討」PI:澤山靖先生 (2)「ATLにおけるドナーの検討:親子間移植(HLA 不適合移植)に関する検討」PI:吉満先生に関して、前回での会議での議論に基づき再解析、今後の方針について議論した。「ATLにおける二次発癌の特徴」宇都宮先生、および「ATLにおける GVHD の臨床像の特徴」田野崎先生より新規提案がなされた。(参加数 12 名)</p>
----------	--

4. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2016 年 12 月末時点まで)

(2147)回

5. WG の今後の活動方針・抱負など

今年度は打ち合わせ会 3 回開催、論文 1 編、学会発表 1 演題であった。ATL は、極めて予後不良であるが、新薬時代においても、造血細胞移植は重要な役割を果たしている。希少疾患であり、さらに発症は日本に集中していることから、データ集積されている WG を通しての本邦からの情報発信は引き続き重要である。新たな情報発信という点において、ATL 移植に特化した State-of-Art を、日本血液学会ガイドラインや今後公表予定の日本造血細胞移植学会ガイドラインと一線を画す形で、現在までの当 WG から成果を中心に提案することも検討する。ATL-WG 内で、今まで以上に積極的な議論を行い、ATL 移植成績向上のための基盤となるような研究を展開していきたい。